

平成22年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年11月5日

上場会社名 株式会社アルテ サロン ホールディングス
 コード番号 2406 URL <http://www.arte-hd.com>

上場取引所 大

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉原 直樹

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員(決算・財務、IR・開示担当) (氏名) 小田 俊也

TEL 045-663-6123

四半期報告書提出予定日 平成22年11月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年12月期第3四半期の連結業績(平成22年1月1日～平成22年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年12月期第3四半期	4,464	△11.3	270	12.8	266	19.2	107	276.0
21年12月期第3四半期	5,030	△11.0	240	46.7	223	77.6	28	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年12月期第3四半期	1,979.64	1,955.86
21年12月期第3四半期	518.18	511.95

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年12月期第3四半期	6,887	1,955	28.4	36,313.53
21年12月期	7,492	1,934	25.8	35,398.54

(参考) 自己資本 22年12月期第3四半期 1,955百万円 21年12月期 1,934百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年12月期	—	0.00	—	1,000.00	1,000.00
22年12月期	—	0.00	—	—	—
22年12月期(予想)	—	—	—	1,000.00	1,000.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成22年12月期の連結業績予想(平成22年1月1日～平成22年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,200	△8.6	460	17.9	432	14.0	150	47.2	2,769.69

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P. 3「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年12月期3Q 56,440株 21年12月期 56,440株

② 期末自己株式数 22年12月期3Q 2,594株 21年12月期 1,792株

③ 期中平均株式数(四半期累計) 22年12月期3Q 54,262株 21年12月期3Q 55,137株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記予想に関する事項は、【添付資料】P. 3「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

(参考) 個別業績予想

平成22年12月期の個別業績予想 (平成22年1月1日～平成22年12月31日)

(%表示は対前期)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	2,400	△1.3	270	△7.1	230	△5.3	80	△11.3	1,477	17

(注) 個別業績予想数値の当四半期における修正の有無 : 無

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	P. 2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	P. 2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	P. 2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	P. 3
2. その他の情報	P. 3
(1) 重要な子会社の異動の概要	P. 3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	P. 3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	P. 3
3. 四半期連結財務諸表	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書	P. 6
(第3四半期連結累計期間)	P. 6
(第3四半期連結会計期間)	P. 7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 8
(4) 継続企業の前提に関する注記	P. 10
(5) セグメント情報	P. 10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	P. 10

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

経営成績の分析

当第3四半期連結累計期間(平成22年1月1日～平成22年9月30日)の国内消費動向は、政府による景気対策効果や今夏の猛暑の影響もあり、耐久消費財を中心に個人消費に持ち直しがみられるなど景気は緩やかに回復しつつあるものの、厳しい雇用、所得環境及び円高の進行やデフレ状況など依然として厳しい状況で推移しました。

景気の先行きに関しても、円高、株価低迷、政府による景気対策効果の減少など不透明な状況であります。

このような中、手頃な価格でより良い商品やサービスなどを求める消費者の志向が定着しており、美容業界全体におきましても、顧客の節約志向を反映して、低価格サロンのシェア拡大、設備投資抑制のための店舗規模の縮小などに伴い、入客数の減少、客単価の低下など、景気に連動した傾向が見受けられました。

当社グループの美容室におきましては、このような消費動向を意識し、平成20年7月以降、より値頃感のある価格設定を示すことによる入客数増加方針への取り組みを継続するとともに、第2四半期連結会計期間よりサービスメニューの拡充による客単価向上の施策を実施しています。

その結果、当社子会社の中核である、株式会社アッシュ(以下、A s h)と株式会社ニューヨーク・ニューヨーク(以下、N Y N Y)両チェーンの入客数は、1,101千人と前年同四半期比で0.6%増加し、客単価は、7,523円と前年同四半期比で0.1%減少しました。

当第3四半期連結累計期間における両チェーンの全店売上高合計は、8,287百万円(前年同四半期比100.5%)となりました。

株式会社スタイルデザイナー(以下、S D)におきましては、前述の消費者の志向に応えるべく、平成20年12月期に着手いたしました新ブランドによる小規模美容室のフランチャイズ(以下、F C)展開が、当第3四半期連結累計期間末において15店舗となり、チェーン展開が順調に推移しています。

当第3四半期連結累計期間末における当社グループの店舗数(注1)は、231店舗(A s h 97店舗、N Y N Y 26店舗、S D 105店舗、株式会社AMG 3店舗)となりました。

なお、当第3四半期連結累計期間における当社グループチェーンの全店売上高合計は、12,208百万円(前年同四半期比98.6%)となりました。

また、個店強化策として直営店からF C店への転換を着実に進めています。

その結果、当社グループのF C店舗(注2)は、209店舗(A s h 97店舗、N Y N Y 7店舗、S D 105店舗)となりました。

当社は、平成20年7月より「理美容事業への注力」という中期経営方針を掲げ、本業である理美容事業の基盤強化となる各種施策を当社グループで展開しており、当第3四半期連結累計期間におきましても、リーズナブルな価格で顧客満足度の高いサービスを展開してきました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における連結売上高は4,464百万円(前年同四半期比88.7%)、営業利益は270百万円(同112.8%)、経常利益は266百万円(同119.2%)、四半期純利益は107百万円(同376.0%)となりました。

このうち、連結売上高が、前第3四半期連結累計期間を下回っておりますのは、A s hにおける材料取引形態を変更したことによるもの(前年同四半期比558百万円減)、及び店舗売上高が連結売上高に計上される直営店から、賃貸収入、ロイヤリティ等が連結売上高に計上されるF C店への転換を進めたことによるものです。

(注1) グループ店舗数231店舗には、トレーニングサロンが含まれていません。

(注2) グループF C店舗数209店舗には、トレーニングサロンが含まれていません。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 財政状態の分析(資産、負債及び純資産の状況)

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて592百万円減少し、2,344百万円となりました。これは主として、現金及び預金の減少523百万円、売掛金の減少59百万円によるものです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて12百万円減少し、4,542百万円となりました。これは主として、建物及び構築物(純額)の増加22百万円、工具、器具及び備品(純額)の増加39百万円、のれんの減少51百万円によるものです。

この結果、総資産は前連結会計年度末に比べて605百万円減少し、6,887百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて661百万円減少し、1,949百万円となりました。これは主として、未払金の減少374百万円、買掛金の減少128百万円、1年内返済予定の長期借入金の減少102百万円によるものです。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて35百万円増加し、2,982百万円となりました。これは主として、長期借入金

の増加175百万円、社債の減少40百万円によるものです。

この結果、負債合計は前連結会計年度末に比べて626百万円減少し、4,931百万円となりました。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べて20百万円増加し、1,955百万円となりました。

これは主として、利益剰余金の増加51百万円、自己株式の取得に伴う減少30百万円によるものです。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の25.8%から28.4%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ535百万円減少し、1,103百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は96百万円（前年同四半期は381百万円の収入）でした。

これは主に、税金等調整前四半期純利益224百万円で得られた資金に対し、仕入債務の減少額128百万円があったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果支出した資金は521百万円（前年同四半期は321百万円の支出）となりました。

これは主に、有形固定資産の取得による支出505百万円によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果支出した資金は111百万円（前年同四半期は837百万円の支出）となりました。

これは主に、短期借入れによる収入50百万円、長期借入れによる収入910百万円で得られた資金に対し、長期借入金の返済による支出837百万円があったことによるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当期の業績予想につきましては、平成22年2月12日に公表いたしました平成22年12月期通期（連結・個別）の業績予想のとおりであり、その後に、特段の該当する事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,256,120	1,779,505
売掛金	279,569	339,068
商品	35,415	34,958
貯蔵品	22,109	23,091
その他	751,174	760,209
流動資産合計	2,344,389	2,936,834
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	4,709,335	4,653,573
減価償却累計額及び減損損失累計額	△2,837,988	△2,804,902
建物及び構築物(純額)	1,871,346	1,848,671
機械装置及び運搬具	11,802	11,751
減価償却累計額及び減損損失累計額	△4,230	△6,616
機械装置及び運搬具(純額)	7,572	5,134
工具、器具及び備品	596,221	530,619
減価償却累計額及び減損損失累計額	△426,037	△400,109
工具、器具及び備品(純額)	170,184	130,509
土地	134,200	134,200
建設仮勘定	4,725	—
有形固定資産合計	2,188,028	2,118,516
無形固定資産		
のれん	400,941	452,589
その他	82,561	82,649
無形固定資産合計	483,502	535,239
投資その他の資産		
敷金及び保証金	1,583,842	1,568,854
その他	305,990	352,742
貸倒引当金	△18,509	△19,781
投資その他の資産合計	1,871,323	1,901,815
固定資産合計	4,542,855	4,555,571
資産合計	6,887,244	7,492,406

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	48,218	176,863
1年内返済予定の長期借入金	684,408	787,208
1年内償還予定の社債	80,000	80,000
未払金	961,876	1,336,634
未払法人税等	40,899	121,595
その他	133,758	107,905
流動負債合計	1,949,160	2,610,207
固定負債		
社債	200,000	240,000
長期借入金	2,387,284	2,211,990
退職給付引当金	21,234	17,205
その他	374,227	478,543
固定負債合計	2,982,745	2,947,738
負債合計	4,931,906	5,557,946
純資産の部		
株主資本		
資本金	324,360	324,360
資本剰余金	860,292	860,292
利益剰余金	850,280	798,597
自己株式	△79,521	△48,694
株主資本合計	1,955,410	1,934,554
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△72	△94
評価・換算差額等合計	△72	△94
純資産合計	1,955,338	1,934,459
負債純資産合計	6,887,244	7,492,406

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成21年1月1日 至 平成21年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成22年1月1日 至 平成22年9月30日)
売上高	5,030,487	4,464,110
売上原価	3,687,511	3,073,303
売上総利益	1,342,975	1,390,807
販売費及び一般管理費	1,102,868	1,119,910
営業利益	240,106	270,896
営業外収益		
受取利息	6,808	3,608
受取配当金	32	35
受取手数料	—	6,835
期限到来チケット精算収入	—	21,766
その他	30,073	9,202
営業外収益合計	36,914	41,448
営業外費用		
支払利息	42,434	35,080
その他	10,680	10,355
営業外費用合計	53,114	45,435
経常利益	223,907	266,909
特別利益		
貸倒引当金戻入額	2,008	2,472
前期損益修正益	4,198	835
債権譲渡益	—	1,038
固定資産売却益	457	1,811
特別利益合計	6,664	6,157
特別損失		
前期損益修正損	4,572	594
固定資産売却損	1,787	104
固定資産除却損	13,234	30,945
減損損失	49,724	590
その他	13,123	16,567
特別損失合計	82,442	48,802
税金等調整前四半期純利益	148,128	224,264
法人税、住民税及び事業税	108,145	99,745
法人税等調整額	△789	17,098
法人税等合計	107,355	116,844
少数株主利益	12,201	—
四半期純利益	28,571	107,420

(第3四半期連結会計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結会計期間 (自 平成21年7月1日 至 平成21年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (自 平成22年7月1日 至 平成22年9月30日)
売上高	1,609,543	1,532,112
売上原価	1,177,702	1,062,818
売上総利益	431,841	469,294
販売費及び一般管理費	359,550	383,170
営業利益	72,290	86,123
営業外収益		
受取利息	2,285	1,210
受取手数料	—	2,717
期限到来チケット精算収入	—	9,473
その他	11,523	3,384
営業外収益合計	13,808	16,786
営業外費用		
支払利息	13,140	11,568
その他	5,428	2,774
営業外費用合計	18,568	14,343
経常利益	67,530	88,566
特別利益		
貸倒引当金戻入額	766	163
前期損益修正益	—	835
固定資産売却益	60	—
特別利益合計	827	998
特別損失		
固定資産売却損	276	—
固定資産除却損	—	5,840
賃貸借契約解約損	1,558	—
その他	—	228
特別損失合計	1,835	6,068
税金等調整前四半期純利益	66,523	83,496
法人税、住民税及び事業税	26,898	32,805
法人税等調整額	13,783	8,798
法人税等合計	40,682	41,603
四半期純利益	25,841	41,892

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成21年1月1日 至 平成21年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成22年1月1日 至 平成22年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	148,128	224,264
減価償却費	434,950	399,268
減損損失	49,724	590
貸倒損失	835	—
のれん償却額	51,607	51,648
その他の償却額	12,836	11,369
前期損益修正損益 (△は益)	—	△240
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△130	△1,272
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	1,770	4,029
受取利息及び受取配当金	△6,840	△3,643
支払利息	42,434	35,080
為替差損益 (△は益)	△2,879	2,782
有形固定資産売却損益 (△は益)	1,330	△1,706
有形固定資産除却損	13,234	30,945
原状回復費	—	1,428
債権譲渡益	—	△1,038
投資有価証券評価損益 (△は益)	1,000	3,600
会員権売却損益 (△は益)	56	—
売上債権の増減額 (△は増加)	222,662	59,499
たな卸資産の増減額 (△は増加)	13,386	526
立替金の増減額 (△は増加)	33,036	△10,777
その他の資産の増減額 (△は増加)	26,313	△1,807
仕入債務の増減額 (△は減少)	△71,113	△128,644
未払金の増減額 (△は減少)	△481,126	△363,825
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△9,679	△19,287
その他の負債の増減額 (△は減少)	16,672	16,910
小計	498,209	309,700
利息及び配当金の受取額	7,740	4,442
利息の支払額	△43,443	△36,849
法人税等の支払額	△80,904	△180,441
営業活動によるキャッシュ・フロー	381,603	96,851

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成21年1月1日 至 平成21年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成22年1月1日 至 平成22年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△30,016	△12,013
有形固定資産の取得による支出	△171,028	△505,205
有形固定資産の売却による収入	51,920	54,839
無形固定資産の取得による支出	△41,381	△10,810
無形固定資産の売却による収入	265	—
投資有価証券の取得による支出	△97	△99
子会社株式の取得による支出	△150,000	—
のれんの取得による支出	△814	—
貸付けによる支出	△25,826	△17,436
貸付金の回収による収入	87,933	67,342
保険積立金の積立による支出	△4,976	△6,044
敷金及び保証金の差入による支出	△81,117	△104,037
敷金及び保証金の回収による収入	67,959	79,631
預り保証金の返還による支出	△45,913	△69,890
預り保証金の受入による収入	15,290	2,705
会員権の売却による収入	1,592	—
その他	5,000	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△321,210	△521,017
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	—	50,000
短期借入金の返済による支出	—	△24,900
長期借入れによる収入	350,000	910,000
長期借入金の返済による支出	△973,986	△837,506
社債の償還による支出	△40,000	△40,000
自己株式の取得による支出	△26,817	△32,486
自己株式の売却による収入	1,520	570
配当金の支払額	△49,994	△54,483
割賦債務の返済による支出	△98,266	△82,409
財務活動によるキャッシュ・フロー	△837,544	△111,215
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	△15
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△777,152	△535,397
現金及び現金同等物の期首残高	1,995,777	1,638,458
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,218,625	1,103,061

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

当社グループの事業は、美容室のチェーン展開を行う単一事業であり、事業の種類別セグメント情報の開示は実施しておりません。

[所在地別セグメント情報]

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

[海外売上高]

海外売上高がないため、該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

著しい変動がないため、記載しておりません。